

桐生西ロータリークラブ週報



2013=14年度RIテーマ

ロンD. バートン RI会長

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を

例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 TEL 0277-22-9155・FAX 0277-44-2777
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi

会長 阿左美博 広報活動委員長 家住慧路 広報活動委員 根本正則・船戸義澄
 幹事 高森 勉 クラブ会報・雑誌担当 金子福松 羽鳥 隆(歴史編集・IT・CICO担当)

No. 1913

2013年10月4日発行

第2031例会 (2013・9・27) 報告

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 食 事 |
| 2. ロータリーソング | 8. 委員会報告 |
| 3. 故 井本上輔会員ご家族様よりご挨拶 | 9. 卓 話 青い鳥ぐんま 施設長 三好紀幸様 |
| 4. 来訪者紹介 | 10. 点 鐘 |
| 5. 会長報告 | 11. ロータリーソング |
| 6. 幹事報告 | |

◆故 井本上輔会員ご家族様よりご挨拶

井本上輔の長男の妻であります井本万里子でございます。この度の父の葬儀に際しまして、お忙しい中、皆様に御会葬いただき、大変ありがとうございました。

父の人生にとってロータリーは、かけがえのないものであったと思います。2月に脳梗塞で入院している間も、クラブから送られてくるファックスを熱心に見ておりましたし、3月には桐生運動公園の早朝清掃奉仕のお知らせをいただくと、どうしてもその前に月桂樹の様子を見ておきたいと、私が車に乗せて観て参りました。そして、7月の新年度からの出席を目標にリハビリに励み、初例会に出席できた後は、本当に喜んでおりました。そのままずっと出席できるかと思っておりましたが、その後体調を崩し、9月16日に永眠致しました。

多くの皆様にお目に掛かれる初例会に出席して、最後のお別れをしたのかと思います。

最後に、今後ますますの桐生西ロータリークラブの発展をお祈り申し上げ、御世話になりました会員皆様、事務局の清水さん、例会場の桐生プリオパレスの皆様にお礼を申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

◆ビクター

青い鳥ぐんま 施設長 三好紀幸様

◆会長報告 阿左美会長

- 先週の本田ガバナー公式訪問では、会員皆様にご協力いただきまして、無事終了いたしました。ありがとうございました。週明け早々、本田ガバナーからお礼状を頂戴いたしました。コピーして各テーブルに配布してありますので、ご覧下さい。お褒めの言葉を頂戴しております。
- 22日(日)に、前橋問屋センター会館で、ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)セミナーのパートIが開催されました。今年度もパートIからⅢまでの3日間にわたって行われ、対象は会長エレクトと次年度幹事です。当クラブから向田会長エレクトと横塚副幹事、そして昨年度パートIのみ受講出来なかったの、私の3名が受講して参りました。
- 25日(水)の夜、中野パスト会長のご好意により、

ゴルフ教室をKRゴルフセンターで開催しました。10数名参加されたそうです。ゴルフ部員も年々減少しておりますので、これを機に、活発になることを期待しております。

- 明日28日(土)、前橋商工会議所会館で、地区委員長会議が開催され、当クラブから、下井田地区補助金委員長が出席されます。
- 明後日29日(日)、地区大会記念ゴルフ大会が、サンコー72カントリークラブで開催されます。当クラブから、会長幹事を含め12名が参加して参ります。
- 同じく29日(日)、桐生プリオパレスの創立30周年パーティーに、当クラブの奥様10名をご招待いただきました。下城サト子会員始め奥様方にご出席いただくことになっております。

◆幹事報告

高森幹事

- ◇ガバナー公式訪問の記念写真を配布致しました。
- ◇次例会から地区大会・桐生5RC合同ゴルフコンペ・合同ガバナー歓迎会の会費の集金をさせていただきます。
- ◇10月のロータリーレートは現行通り1ドル100円です。
- ◇9月24日の上毛新聞にライオンズとロータリーの会員減少についての記事が掲載されました。(各テーブルに配布)
- ◇例会変更のお知らせ

桐生RC 10/14(休)、10/21 伊勢崎南RC 10/22、10/29(休)
 桐生南RC 10/16、10/30 太田RC 10/10、10/17、10/31
 高崎ソフォ-RC 10/4、10/18、10/25 富岡RC 10/2(休)、10/16
 ◇クラブ会報が到着しています

桐生中央RC 9/12

桐生赤城RC 9/10

◆食事メニュー

1310キロカロリー

インゲンとレンコンのサラダ、サーモン磯辺揚げ、若鶏のおろし煮、茄子と小松菜の味噌汁、お新香、南瓜のパンナコッタ、白飯

◆委員会報告

□クラブ運営委員会

◇出席報告

新木出席担当

総数52名(免除者9名の内7名出席の為2名を除く)
 出席率対象者50名、出席率対象者出席人数41名
 欠席者9名(内前メイク4名) 出席率90.00%
 前々例会修正出席率91.84% (最終欠席者4名)

□掘金委員会

◇ニコニコBOX

七五三木掘金委員

父の葬儀では大変お世話になりました。また生前中のご厚情に深く感謝申し上げます 故 井本会員ご長男 隆様 三好紀幸様、卓話ありがとうございます

阿左美君、高森君、乾君、栗原(幸)君、前原君 井本さん、永い間大変御世話になりました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます 鳥嶋君 東郷さん、ありがとうございます 津久井君 中野さん、お世話になりました 江原君 ゴルフ教室に参加しました 金子君 ご無沙汰しております 齋藤君 昨日は「にんげん」を370軒ほど配ることができました 船戸君

◇ロータリー財団

江原R財団担当

父の葬儀では大変お世話になりました。また生前中のご厚情に深く感謝申し上げます 故 井本会員ご長男 隆様 三好紀幸様、卓話宜しく申し上げます 前原君、船戸君 井本さん、永い間大変御世話になりました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます 鳥嶋君 中野さん、栗原さん、ゴルフ練習ありがとうございます 江原君 ゴルフ練習はどうでしたか 栗原(幸)君 霜村さん昨日はお世話になりました 高森君 しばらくでした 齋藤君

□米山BOX

栗原(幸)米山奨学担当

父の葬儀では大変お世話になりました。また生前中のご厚情に深く感謝申し上げます 故 井本会員ご長男 隆様 三好紀幸様、卓話を楽しみにしています 前原君、船戸君 井本さん、永い間大変御世話になりました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます 鳥嶋君 会長、差し入れありがとうございます 栗原(幸)君 ゴルフの練習参加出来ず残念です。次回宜しくお願ひします 乾君 富岡RCでの卓話無事終了致しました 高森君 長らくご無沙汰しております 齋藤君

卓 話



情緒障害児短期治療施設
青い鳥ぐんま

施設長

三好紀幸様

新世代の為の月間に困んで
「子ども虐待と
そのケアについて」

本日は、私たちの施設に入所している子供たちの大半が抱える虐待の問題についてお話をさせていただきます。

厚労省がまとめた全国の児童相談所における虐待の相談件数は、昨年は一年間で約6万7千件でした。平成2年に統計を取り始めてから昨年までの間に約60倍に増えています。群馬県内でも約650件が虐待として受理されています。これは単純に計算すると県内の各小学校に2名程度は被虐待児がいるという数字になります。また、虐待により全国で毎年50人程が亡くなっています。虐待の問題は子どもをめぐる現代の社会問題の一つになっているのです。

虐待は今日だけの問題ではなく、いつの時代にもありました。その時代背景に合わせて虐待の特徴がありますので、簡単にご紹介させていただきます。まず戦後の混乱期は貧困に起因する『人身売買』『見殺し』といっ

たものです。そして60～70年代の高度経済成長は、「コインロッカーベビー」というような言葉に象徴されるような自己中心的な虐待です。そして80年代は、「校内暴力」、「学校崩壊」「家庭崩壊」「積木くずし」といった言葉に象徴される子ども達の怒りが大人に対して向けられた行動に特徴があります。そして90年代以降の平成の時代になってからは、先ほど紹介しました通り虐待は社会問題となりました。

では、虐待とは何か説明させていただきます。虐待とは「保護者や同居する者により児童の人権や生命が脅かされたり心身の成長及び人格の形成に重大な影響を与えるもの」と定義されております。虐待は4種類に分けられます。身体的虐待、ネグレクトと呼ばれる育児放棄、育児怠慢、心理的虐待、性的虐待に分けられます。

これら虐待は子ども達にトラウマとなり様々な影響を与えます。「対人関係の障害」「感情・行動のコントロールができない」「自尊感情が低い」「解離」「将来への展望がもてず、場当たり的な行動をしてしまう」といったことが起こります。

では、この虐待を生む背景にはどのようなことがあるのか、3つの視点からお話させていただきます。

1つ目は、母親にまつわる虐待のハイリスク要因を挙げてみます。「夫や祖父母などの協力が得られない、シングルマザー、貧困などにより養育環境が悪い→育児のストレスを増長させる」「ワーキングマザーより専業主婦のほうが虐待は多い。」「望まぬ妊娠、出産であったということ」「母親が精神的に不安定であったり、精神疾患がある」などです。

2つ目の視点は、「虐待の世代間連鎖」といわれているものです。これは、子供のころ虐待を受けた人が大人になり自分が親になった時、自分の子どもに対して同じように虐待をしてしまうことが多いという事です。

3つ目の視点は、子ども側の要因です。子供自身がもつ育てづらさが誘因となり虐待につながってしまうことで、その代表的なものが発達障害です。

次に、私たちの施設でのケアについてお話させていただきます。青い鳥ぐんまは、平成18年9月に開設し今年で8年目に入りました。国は各県に一施設作ることを目標に掲げていますが、まだ全国に38ヶ所しかありません。入所部門と通所部門があり、定員はそれぞれ38名と15名です。入所の対象は小・中学生で被虐待児と発達障害児です。平均入所期間は約2年と決して短期ではありません。職員は、生活担当職員が子ども4.5人に1人、心理担当は子ども10人に1人配置しなければなりません。そのほかに医師(青い鳥の場合は嘱託医)、看護師、家庭支援専門員を置かなければなりません。

看短施設では、治療の基本理念を「総合環境療法」と呼んでいます。これは、精神科医療をベースに心理治療、生活指導、学校教育、家庭支援が協働して子供の治療にあたるというものです。これらがすべて施設内で行われるのです。

具体的な指導内容ですが、一つ目はまず、「安心・安全な生活環境を提供すること」「対人行動の改善」「生活力の向上」「豊かな生活経験を積む」「自己肯定感を高める」ということです。

最後に、親からの虐待による心の傷は一生消えないとも言われています。治療施設として、子ども達が辛さを乗り越えて少しでも前向きな人生が送れる様、支援の質の向上を目指していきたいと思ひます

ご清聴ありがとうございます。

《次例会予告》

10月11日(金) 米山月間に困んで

10月の出席100%表彰、誕生・結婚祝い